

令和3年度

3学期学校評価

※3学期自己評価が2.5未満の項目に灰色 2学期と比較して評価が上昇している項目に黄色

〔評価:とてもよい4 よい3 もう少し2 改善を要す1〕

観点	評価項目	自己評価				○成果と●課題	令和4年度の改善策（自己評価2.5未満）
		1学期	2学期	3学期	3学期総合		
I 信頼される開かれた学校教育の推進	1 学校経営方針（ランドデザイン）や課題を理解し、共通実践がなされている。	3.2	2.8	2.7	2.5	○3学期の学校経営について、共通理解・共通実践ができた。 ●掃除の仕方が上達してきているがまだまだである。 ●教職員一人一人の1トライの実践が進んでいる。	◇令和4年度は日課表の清掃活動を増やし、掃除の仕方を身に付けさせ日常的な環境美化意識の定着を図る。 ◇校務の情報化・データ化を通して、効率的に仕事が進められるよう工夫する。
	2 一学校一改革「汗をかき、心を磨く清掃活動」の実践がなされている ・場所に合った掃除の道具と方法 ・使う人の身に立った掃除（気付き 考え 行動する） ・自省を促し感謝を育む時間	2.4	2	2.3			
	3 校務分掌組織をもとに「報告・連絡・相談」を確実にし、連携・協力し計画的に校務を進めている。	2.6	2.6	2.5			
	4 諸行事等の反省・評価が適切になされている。	2.6	2.6	2.6			
	5 業務改善に向け、学校全体として1アクション、教職員一人一人の1トライに取り組んでいる。	2	1.8	2.3			
	6 学級PTA、PTA専門部活動及び学校保健委員会、家庭教育学級等、保護者と協力・連携して進めている。	2.6	3	3	3	○学校での子供の様子を保護者に正しく伝えることで保護者が安心した。	
	7 「学校支援ボランティアの活用」や「まちづくり協議会との連携」を通じた地域の特性を生かした活動がなされている。	2.8	3	3			
	8 校内研修や個人研修、研修会参加等を通して指導力の向上がなされている。	2.6	2.6	2.7	2.9	○具体的な研修を通して、公務員としての自覚を高めることができた。 ○適正な勤務時間の確保に努めることを意識した。	
	9 つねに常に教育公務員であることを自覚して信頼される行動を心がけている。（飲酒運転の禁止・交通安全・情報管理・金品管理等）	2.6	3.2	3			
	10 適正な勤務時間、健康診断の受診等、心身の健康を意識し自己の健康管理がなされている。	2.8	2.8	3			
II 確かな学力をもち個性あふれる子供の育成	11 基礎的・基本的事項の確実な定着を図っている。（単元テスト80%以上、めあてとまとめの板書、小テスト）	2.3	2.4	2.8	3	○学年末に向けて学習の定着を図ることができた。 ○家庭学習にも継続して取り組ませた。	
	12 家庭学習の方法について具体的に指導し、継続して取り組ませている。（10分×学年+20分）	2.5	2.6	3.2			
	13 校内研修と関連させ、学年に応じた学習のしつけやガイド学習定着の指導がなされている。	2	3	3.2	3	○前之浜スタイルの確立に向けて、それぞれで実践を進めることができた。 ○ICT機器がさらに活用できるように学んでいきたい。 ○学習したことをまとめ、発表・報告する活動を行うことができた。	
	14 個別の指導計画等をもとに、一人一人の児童の実態に応じた指導・支援がなされている。	2.4	2.4	2.8			
	15 ICTを積極的に活用し、わかる授業づくりを実践している。	2.5	2.5	2.8			
	16 言語活動（読書・音読・表現の場）を充実させ、表現力の育成のための指導がなされている。	2.5	2.8	3			
III 道徳心や社会性を養い心身にたくましく子どもを育成	17 「考え、議論する」道徳の授業実践や評価の工夫がなされている。	2.5	3	3	2.8	○学校生活の様々な場で、道徳的実践力の育成を図った。	
	18 生活の場で、道徳的実践力の育成や豊かな感性の育成がなされている。（ボランティア活動、人との触れ合い、清掃・奉仕活動など）	2.4	2.6	2.8			
	19 個に応じた読書量を確保するために、具体的な手立てを講じている。	2.8	3	2.6			
	20 仲良し体育、教科体育を通して体力・運動能力の向上がはかられている。（「一校一運動」なわとび、「ちよとれ運動」）	2.3	2.6	2.6	2.7	○縄跳びを通して積極的に体力づくりに取り組む児童が多かった。	
	21 月目標や健康診断結果をもとに、基本的健康習慣の定着がなされている。（早寝・早起き・朝ご飯、う歯治療率100%）	2.8	2.4	2.7			
22 全職員が全校的な視野に立って、生徒指導上の諸課題について共通理解・共通実践がなされている。	2.6	2	2.2	2.5	○生徒指導上の問題について共通理解し、共通に実践することを具体的に確認するようにした。 ●一事徹底事項の定着がまだまだである。 ●毎月設定されている月目標について具体的な指導と見届けが不十分であった。 ○定期的に児童にアンケートを取り、実態把握と早期発見・解決に努めた。 ○機会をとらえて保護者との情報交換を行い、気になる子供への支援・見届けを行った。	◇連絡会や心の教育推進委員会の充実を図り、情報共有・具体的実践内容の確認を確実にし、 ◇令和4年度は、挨拶を一事徹底の重点事項として掲げ、定着を図っていく。 ◇教師の指導に加え、児童会活動の充実を通して、子供たちが自主的に生活習慣を確立していけるようにする。	
23 一時徹底事項の指導と見届けがなされている。（挨拶、履物、廊下歩行、言葉づかい）	2.4	2.2	2.2				
24 子ども一人一人の基本的生活習慣の確立のための指導がなされている。（生活のきまり、月目標）	2.6	2.8	2.4				
25 よりより人間関係づくりのために、いじめ問題を考える週間、ニコニコ月間等で手立てを講じている。	2.8	2.8	2.6				
26 教育相談を計画的・意図的に実施し、保護者との連携・協力がなされている。	2.8	3	3				